

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	神戸市外国語大学
設置者名	神戸市公立大学法人

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
外国語学部	英米学科	夜・通信	48	38	0	86	13	
	ロシア学科	夜・通信		38	0	86	13	
	中国学科	夜・通信		38	0	86	13	
	イスパニア学科	夜・通信		38	0	86	13	
	国際関係学科	夜・通信		38	0	86	13	
外国語学部第2部	英米学科	夜・通信	22	8	0	30	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページへの掲載 (ホーム> 大学案内> 教育情報> 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表)
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	神戸市外国語大学
設置者名	神戸市公立大学法人

1. 理事（役員）名簿の公表方法

神戸市外国語大学 HP (https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/administration/board.html)
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(現職) 神戸商工会議所副会頭・ 田嶋株式会社代表取締役社長	2023年4月 1日～2025 年3月31日	副理事長(理事長を 補佐し法人の業務 を掌理する。)
非常勤	(現職) 神戸親和大学客員教授	2023年4月 1日～2025 年3月31日	理事(広報に関する 助言)
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神戸市外国語大学
設置者名	神戸市公立大学法人

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画(シラバス)の作成過程】 「授業の方法及び内容」、「到達目標」、「成績評価の方法や基準」、「実務経験のある教員がどのような教育を行うのか」等の必要事項を記載した「シラバス記載例」を授業担当教員へ配布のうえ作成依頼を行っている。</p> <p>【授業計画(シラバス)の作成・公表時期】 シラバスは、教員が12月～2月にかけて作成し、3月下旬に本学ホームページにて公開している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>https://www.kobe-cufs.ac.jp/ (上記URLより、本学ホームページへアクセスしページ右下の「シラバス検索」→「シラバス照会」より検索が可能。)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位取得に必要な基準となる「成績評価基準」を履修規程に定め、本学ホームページで明示している。</p> <p>【URL】 https://www.kobe-cufs.ac.jp/campuslife/seisekihyouka/</p> <p>また、各授業の「評価の方法・基準」及び「履修にあたっての注意」をシラバスへ明記し学生へ公開しており、各教員はシラバスの評価基準に基づき厳格な評価を行い、単位を付与している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【GPA等の客観的な指標の具体的な内容(指標の算出方法など)】</p> <p>(G P算出方法) $G P = (\text{評価点} - 55) / 10 \quad (\text{評価点} < 60 \text{点のとき } GP = 0)$</p> <p>(G P A算出方法) $G P A = \Sigma (\text{各科目の } G P \times \text{その科目の単位数}) / \text{総単位数}$</p> <p>【客観的な指標の適切な実施状況】 毎年度、学科ごとのG P A分布状況を含む各種数値を把握し関係委員会において検証を行っている。</p> <p>【客観的な指標の算出方法の公表方法】 本学ホームページ(下記 URL にて閲覧可能)</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.kobe-cufs.ac.jp/campuslife/seisekihyouka/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)の具体的な内容】 次のような資質を持つ「行動する国際人」に学位を授与する。</p> <p>① 能動的に学ぶ力 世界で活躍する人間にふさわしいリテラシーや倫理を備え、多様な背景を持つ人々と協働する力を身につけている</p> <p>② 世界の多様性を観る力 国際的な視点を持って、多様な文化や社会を理解する力を身につけている</p> <p>③ 高度な外国語運用能力 高度で柔軟な外国語運用能力を身につけている</p> <p>④ 専門的思考力・表現力 体系的な学問習得により、自らの考えをまとめる思考力と表現力を身につけている</p> <p>⑤ グローバル化された社会で行動し生きる力 課題の発見・分析・解決に導く複眼的思考力を持ち、積極的に世界に向き合う姿勢を身につけている</p> <p>【卒業の認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)の適切な実施状況】 上記の資質能力形成のためにカリキュラムポリシーを策定し、これに基づいて教育課程を編成している。また、各授業で定めた成績評価の方法に基づき、学修成果を厳格に評価し、単位を授与している。なお、本学に4年以上在学し、所定の124単位以上を修得した学生に学士(外国学または国際関係学)の学位を授与している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/purpose/diploma_policy.html

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	神戸市外国語大学
設置者名	神戸市公立大学法人

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/administration/finance.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/administration/finance.html
財産目録	作成不要
事業報告書	https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/administration/finance.html
監事による監査報告(書)	https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/administration/finance.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 神戸市外国語大学 HP (https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/administration/daigakuhyouka.html)
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: 神戸市外国語大学 HP (https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/administration/daigakuhyouka.html)
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/purpose/diploma_policy.html) (概要) 神戸市外国語大学は、ビジネス、外交、教育、研究など社会の様々な分野で国際的視野を持って活躍できる「行動する国際人」を養成することを目指します。 神戸市外国語大学の考える行動する国際人とは、複数の領域に秀でた複眼的思考力を持った人物であり、複雑化・多様化する国際社会において能動的に行動し、他者を理解し他者と協調できる人物を指します。 そのために、専攻外国語とその背後に広がる文化と社会に通じていること、および、体系的な学問習得に裏打ちされた洞察力と論理思考力をもつこと、その両方を備えた人材を育成することを目指します。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法： https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/purpose/diploma_policy.html (再掲) (概要) 次のような資質を持つ「行動する国際人」に学位を授与する。 ①能動的に学ぶ力 世界で活躍する人間にふさわしいリテラシーや倫理を備え、多様な背景を持つ人々と協働する力を身につけている ②世界の多様性を観る力 国際的な視点を持って、多様な文化や社会を理解する力を身につけている ③高度な外国語運用能力 高度で柔軟な外国語運用能力を身につけている ④専門的思考力・表現力 体系的な学問習得により、自らの考えをまとめる思考力と表現力を身につけている ⑤グローバル化された社会で行動し生きる力 課題の発見・分析・解決に導く複眼的思考力を持ち、積極的に世界に向き合う姿勢を身につけている
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/purpose/curriculum_policy.html) (概要) ディプロマ・ポリシーが定める 5 つの資質は以下のように関係づけられます。「1. 能動的に学ぶ力」と「2. 世界の多様性を観る力」は、本学の学びを基礎づける資質となります。この基礎の上に「3. 高度な外国語運用能力」と「4. 専門的思考力・表現力」という複眼的な資質を養うことを目指します。これら 4 つの資質に基づいて「5. グローバル化された社会で行動し生きる力」を養成し、「行動する国際人」の育成を図ります。 この考え方に基づいて、カリキュラム・ポリシーではディプロマ・ポリシーで定める 5 つの資質の育成に主として寄与する科目群を策定するとともに、別に定めるカリキュラム・マップを通じて各授業科目がどのような資質の育成を図ろうとするかを明示することにより、体系的を持った教育課程を編成します。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.kobe-cufs.ac.jp/about/purpose/admission_policy.html)

<p>(概要)</p> <p>神戸市外国語大学は、国際的な知識と柔軟な判断力を持った「行動する国際人」の育成を目指しています。また、この教育理念に基づきディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを策定しています。</p> <p>このディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに掲げる目標を達成するために、神戸市外国語大学は、本学の教育理念に共鳴するとともに、本学での学びを通じて、外国や自国の言語・文化・社会への関心をさらに高め、これからの国際人にふさわしい視野の広さ・専門的知識・対話能力の獲得を積極的に目指す学生を求めます。</p>
--

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：公表していない。要望に応じて個別に対応している。

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	4人	—					4人
外国語学部、外国語学部 第2部	—	33人	32人	7人	0人	0人	72人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		231人					231人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：https://www.kobe-cufs.ac.jp/institute/faculty/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
(1) 授業評価アンケートを実施し、教員が教育方法等の見直しができる機会を提供している。							
(2) FD推進部会が学生との座談会及び専任教員との座談会を実施し、授業等の改善へ向けた検討を行っている。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
英米学科	140人	143人	102.1%	560人	691人	123.4%	0人	0人
ロシア学科	40人	41人	102.5%	160人	183人	114.4%	0人	0人
中国学科	50人	51人	102.0%	200人	239人	119.5%	0人	0人
イスパニア学 科	40人	43人	107.5%	160人	196人	122.5%	0人	0人
国際関係学 科	80人	83人	103.8%	320人	392人	122.5%	0人	0人
第2部英米学 科	80人	82人	102.5%	320人	385人	120.3%	0人	0人
合計	430人	443人	103.0%	1720人	2086人	121.3%	0人	0人

(備考)

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
外国語学部	356人 (100%)	20人 (5.6%)	300人 (84.3%)	36人 (10.1%)
外国語学部第2部	74人 (100%)	4人 (5.4%)	51人 (68.9%)	19人 (25.7%)
合計	430人 (100%)	24人 (5.6%)	351人 (81.6%)	55人 (12.8%)

(主な進学先・就職先) (任意記載事項)
 進学先：京都大学大学院、大阪大学大学院、一橋大学大学院、神戸大学大学院、北海道大学大学院、神戸市外国語大学大学院
 就職先：アクセンチュア、アマゾンジャパン合同会社、(株)近鉄エクスプレス、(株)神戸製鋼所、(株)サイバーエージェント、(株)JTB、全日本空輸(株)、帝人フロンティア(株)、東京海上日動火災保険(株)、トヨタ自動車(株)、日本アイ・ビー・エム株式会社、日本航空(株)、(株)阪神阪急エクスプレス、外務省専門職員、神戸市役所

(備考)

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
英米学科	145人 (100%)	50人 (34.7%)	92人 (63.4%)	3人 (2.1%)	()人
ロシア学科	41人 (100%)	27人 (65.9%)	13人 (31.7%)	1人 (2.4%)	()人
中国学科	52人 (100%)	20人 (38.5%)	29人 (55.8%)	3人 (5.8%)	()人
イスパニア学科	43人 (100%)	15人 (34.9%)	27人 (62.8%)	1人 (2.3%)	()人
国際関係学科	85人 (100%)	28人 (32.9%)	54人 (63.5%)	3人 (3.5%)	()人
第2部英米学科	80人 (100%)	23人 (28.8%)	44人 (55.0%)	6人 (7.5%)	(8.8%)人
合計	446人 (100%)	163人 (36.5%)	259人 (58.1%)	17人 (3.8%)	(1.6%)人

(備考) 休学して留学する学生が多いため、留年者が多い。
 第2部英米学科の「その他」7名は、入学後、英米学科へ転部。
 (うち1名は修業年限期間内に卒業)

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>「授業の方法及び内容」、「到達目標」、「成績評価の方法や基準」、「実務経験のある教員がどのような教育を行うのか」を含む授業内容について記載したシラバスを本学ホームページにて公開している。</p> <p>(様式2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】から一部抜粋)</p> <p>【シラバス公開 URL】 https://www.kobe-cufs.ac.jp/ 上記 URL より、本学ホームページへアクセスしページ右下の「シラバス検索」→「シラバス照会」より検索が可能。</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>単位取得に必要な基準となる「成績評価基準」を履修規程に定め、本学ホームページで明示している。</p> <p>【URL】 http://www.kobe-cufs.ac.jp/campuslife/seisekihyouka/ また、各授業の「評価の方法・基準」及び「履修にあたっての注意」をシラバスへ明記し学生へ公開しており、各教員はシラバスの評価基準に基づき厳格な評価を行い単位を付与している。</p> <p>■卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー） 次のような資質を持つ「行動する国際人」に学位を授与する。</p> <p>①能動的に学ぶ力 世界で活躍する人間にふさわしいリテラシーや倫理を備え、多様な背景を持つ人々と協働する力を身につけている</p> <p>②世界の多様性を観る力 国際的な視点を持って、多様な文化や社会を理解する力を身につけている</p> <p>③高度な外国語運用能力 高度で柔軟な外国語運用能力を身につけている</p> <p>④専門的思考力・表現力 体系的な学問習得により、自らの考えをまとめる思考力と表現力を身につけている</p> <p>⑤グローバル化された社会で行動し生きる力 課題の発見・分析・解決に導く複眼的思考力をもち、積極的に世界に向き合う姿勢を身につけている</p>

学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
外国語学部	英米学科	124 単位	有・無	49 単位
	ロシア学科	124 単位	有・無	49 単位
	中国学科	124 単位	有・無	49 単位
	イスパニア学科	124 単位	有・無	49 単位
	国際関係学科	124 単位	有・無	49 単位
外国語学部第2部	英米学科	124 単位	有・無	49 単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：公表方法：<https://www.kobe-cufs.ac.jp/campuslife/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
外国語学部	英米学科	535,800円	423,000円	0円	※「神戸市民及びその子弟」の場合、入学金は282,000円
	ロシア学科	535,800円	423,000円	0円	
	中国学科	535,800円	423,000円	0円	
	イスパニア 学科	535,800円	423,000円	0円	
	国際関係学 科	535,800円	423,000円	0円	
外国語学部 第2部	英米学科	267,900円	211,500円	0円	※「神戸市民及びその子弟」の場合、入学金は141,000円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

日本学生支援機構の給付型奨学金の採用候補者である入学者に対し、入学金及び前期分授業料の徴収を4月末まで猶予する取組を実施している。外国語学部、外国語学部第2部新入生のうち、高校予約採用に申し込みを行い、予約採用候補者に決定した者を対象とする。大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免の対象者の認定に関する申請書、採用候補者決定通知書のコピー、及び入学金納付に関する誓約書を入学手続き時に提出することを条件とする。

1・2年生は、クラス担任のチューター制度を設け、修学面や学生生活について相談できる。

授業での出席状況を見て、担当教員から支援担当部署へ欠席の多い学生の報告をすることにより、教員または職員との面談、学生相談室でのカウンセラーによる相談などに繋げ、修学状況の改善を図っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

- ・個別相談(ES 添削、模擬面接練習、その他就職に関する相談)
- ・各種就職ガイダンスの実施
- ・国内外インターンシップの案内
- ・求人受付及び紹介
- ・学内合同企業説明会の実施
- ・企業情報、OB・OG 情報の提供
- ・就職関連図書の貸し出し

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

入学時と健康診断時に心身の健康に関する調査を実施し、状態を把握するとともに、配慮が必要な学生の早期対応を行う。

保健室だより・学生相談室だよりを年4回発行し、食事や栄養面の啓発や疾病の予防法、相談室紹介など情報を提供している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.kobe-cufs.ac.jp/kyouikujouho.html>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F128210108670
学校名 (〇〇大学 等)	神戸市外国語大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	神戸市公立大学法人

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		187人	185人	206人
内訳	第Ⅰ区分	103人	104人	
	第Ⅱ区分	58人	27人	
	第Ⅲ区分	26人	54人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				－
合計 (年間)				－
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	-	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	-	人	人
計	-	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。） 、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-
3月以上の停学	0人
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	21人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	21人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。